

令和7年度 エクステンション・プログラム

(旧生涯学習講座) 開講科目一覧

【通年 開講科目】

フランスの歴史と文化	大阪万博が開催される今年度は万博の歴史をたどりながら、19～20世紀のフランスと日本の美術の交流史を理解します。文献と画像の両面から学びを深めましょう。(齋藤美保子)
日本文化史演習	近世から近代に作成された文書史料を読み解きます。文書が作成された背景などをふまえ、深く読み込みながら当時の地域社会について考えます。(佐藤 愛未)

【特別講座】

クラフト(手芸)	花は、そこにあるだけで人の心を優しくさせ、暮らしを豊かにしてくれます。プリザーブドフラワーやアーティフィシャルフラワーで、オンリーワンの作品を作ります。(深谷 笑子) ※5月第3週スタート。毎週火曜日 16:20～17:20 全10回 受講料:20,000円
----------	--

【前期開講科目】

解剖生理学 I	解剖生理学を栄養学や医学との関わりも含めて学びます。Iでは細胞と組織、消化器系、血液系などに。IIでは生殖器、筋骨格系、内分泌、神経などに焦点を当てます。(諏訪 雅貴)
油彩画 I	油彩画(油絵)は西洋画の中心をなす優れた油彩絵具によるもので、自由な表現が可能です。基礎的な技法の理解と研究により、表現力および美術的感性を磨きます。(米本 順子)
国語表現法 I	論文力の養成には読書も不可欠です。論文の実践と同時にシェイクスピア作『ソネット集』を詠みます。読み書きという二刀流を通して言語表現能力を高めます。(真船 均)
総合英語 II (ベーシック)	キャンパスを舞台とした日常生活の英語表現を学び、音読や読書を繰り返す行うことによって英語力アップを目指します。(安田 純子)
宗教学的人間論	宗教とは何か。生活禅、アニメやマンガなどを題材に、学問の対象としての宗教を考察します。(福島寅太郎〈何 燕生〉)
生化学	化学的視点で生物を構成する物質と生体内で受ける化学変化(代謝)を理解する学問です。細胞レベルで生体構成物質と合成・分解などの代謝について学習します。(源川 博久)
臨床栄養学	食生活や生活習慣のゆがみは要注意。様々な疾病と栄養や食事との関係を理解し、その知識を疾病の予防、治療、増悪防止に活用できるよう解説します。(小林 澄枝)

生活学的社会論	私たちが生活している社会が、どのような構造を持ち、どのような状態にあり、どのような課題を抱えているか理解を深め、考察する力を養っていきます。(長谷川貴弘)
住生活概論	住まいの変遷や機能、課題(デザイン、UD、環境等)について学習します。次に、スケールを意識して建築製図を描き、住宅設計の基礎的知識を把握します。(阿部恵利子)
ヨーロッパ文化史	現代文明の共通要素として大きな意味をもつヨーロッパ文明について、その中世における形成から近代化を経て現在に至る過程を大掴みに概観します。(桑野 聡)
日本文化史	身近に存在する日本文化はどのように生まれてきたのでしょうか。江戸時代を中心に、社会の様子と文化の関わりを手掛りとして学び、日本文化の繋がりを考えます。(佐藤 愛未)
版画基礎	版画の代表的な版種である木版画、銅版画、石版画、シルクスクリーンの4版種に加え、型紙彫りと藍染を含む基礎を学び、その中から1版種を選び制作します。(齊藤 弘久)
塑造基礎	塑造とは、粘土などを用いた彫刻作品をつくる技法のことです。彫刻の基礎的な技法や表現を学び、主にテラコッタ作品の制作などを行います。(黒沼 令)

【後期開講科目】

解剖生理学Ⅱ	解剖生理学を栄養学や医学との関わりも含めて学びます。Ⅰでは細胞と組織、消化器系、血液系などに。Ⅱでは生殖器、筋骨格系、内分泌、神経などに焦点を当てます。(諏訪 雅貴)
油彩画Ⅱ	油彩画(油絵)は西洋画の中心をなす優れた油彩絵具によるもので、自由な表現が可能です。基礎的な技法の理解と研究により、表現力および美術的感性を磨きます。(米本 順子)
国語表現法Ⅱ	論文力の養成には読書も不可欠です。論文の実践と同時にシェイクスピア作『ソネット集』を詠みます。読み書きという二刀流を通して言語表現能力を高めます。(真船 均)
家庭福祉論	急速に進む少子高齢化の中で家族がどのように変化しているのか、家族が抱える諸問題やその背景、必要とされている支援策や制度等を学びます。(知野 愛)
保育の心理学	子どもの望ましい発達とは?望ましい自己概念形成に必要なアプローチとは?主にこの2点を、これからの保育の現場に立つ学生と考えていきます。(折笠 国康)
人間環境学	環境問題の原点の水俣病や放射線汚染、環境中で分解が難しいダイオキシンや水道水中のトリハロメタン、妊娠と医薬品についてサリドマイドを例として講義します。(影山 志保)

臨床栄養学Ⅱ	<p>身体の仕組みを理解し、食べた食事が身体でどのような働きを持ち、健康に影響するかをベースに、病院や高齢者施設での具体的な栄養管理を学びます。</p> <p>(角田真佐枝)</p>
微生物学	<p>微生物の種類と生理、食品の腐敗・変敗と保存原理、発酵食品の種類と製造原理、病原微生物の種類、殺菌方法および抗菌薬の種類など幅広い内容を講義します。(澤渡 優喜)</p>
実用英語Ⅰ	<p>英語は世界で広く使われ、国際コミュニケーションのために必要度が増しています。音読や練習を繰り返し行うことによって、実用的な英語力アップを目指します。(安田 純子)</p>
ヨーロッパ史演習	<p>「ヨーロッパ文化史」の概説的知識を基に、毎年異なるテーマで諸問題を取り上げます。今年度は視覚情報と史実の関係を映画作品を利用して考えます。</p> <p>(桑野 聡)</p>
宗教文化史	<p>「一つの宗教しか知らないものはそもそも宗教を知らない」。このような比較宗教学のスタンスで「人間中心」の観点から諸宗教の起源や根拠を考察します。</p> <p>(福島寅太郎〈何燕生〉)</p>
地域歴史遺産論	<p>歴史遺産とは地域の人々が長く守り継承してきた広義の文化財です。文化財保護法により、どのように保護され、「文化観光」に活用されているかみてゆきます。(會田 容弘)</p>
考古学	<p>考古学は人類の制作・使用したモノをもとに過去の人間の行動を研究する学問です。考古学の定義・目的・研究範囲・資料・研究方法について基礎を学びます。(會田 容弘)</p>
経営学基礎	<p>経営学には、変化する社会の中で組織を効率的に運営する組織論的側面と、企業という特定の存在を扱う企業的側面があります。経営学の基礎的な内容を解説します。(長谷川貴弘)</p>
特別支援教育基礎論	<p>保育現場には様々な支援を必要とする子どもたちがいます。支援に有効な知識、技能を学びながら、目指すべき保育のあり方について考えていきます。</p> <p>(小林 徹)</p>
木彫基礎	<p>木彫の基礎的な知識・技法を学習しながら木の持つ素材的な魅力を味わうことを目標とします。授業の課題作品として、栞と小さな木彫作品を制作します。</p> <p>(黒沼 令)</p>
版画表現	<p>版画の奥深さをさらに体験しながら制作したいという方に、基本4版種と型紙彫り、藍染の中から選び制作します。初心者の方は前期の版画基礎から受講ください。(齊藤 弘久)</p>